

達成状況評価書(平成26年度)

部局名: 全学教育推進機構

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、コラボレーティブ・イノベーション人材の育成を目指して教養教育カリキュラム検討WGを設置し、学事暦変更及び高度教養教育の充実を含むカリキュラム改革の検討を開始したほか、大学院横断教育部門を中心とする検討ワーキングにおいて、文系の部局横断型教育プログラムである「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を平成27年度に開始するための準備を整えるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、ネイティブスピーカーによる対話型少人数クラス「実践英語（上級）」を、第Ⅲセメスターに計8コマ新設したほか、「英語（Speaking）」「英語（Writing）」の担当教員について、すべてネイティブ教員が担当することとするなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、海外フィールドスタディ3プログラムや、海外インターシップ参加への助成により、学生の海外渡航の支援を実施しているほか、グローバルコラボレーションセンター、国際教育交流センターおよび学生交流推進課との連携の下、計13名の「トビタテ！留学Japan；日本代表プログラム」採用者を得るなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、本学における学際融合教育の情報を集約した学生向けのウェブサイト「大阪大学 学際融合教育」を作成し、修了者インタビュー等を掲載し、情報提供を開始したほか、昨年度に引き続き、大学院副専攻/高度副プログラム案内冊子、知のジムナスティックス案内冊子、学際融合教育ガイドを発行し周知を図るなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成26年度)

項目	コメント
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、教養教育カリキュラム検討WGの設置、マルチリンガル・エキスパート養成プログラム実施に向けた整備、英語教育の充実、学生の海外渡航の支援、本学の学際融合教育に関するウェブサイト開設による学際融合教育の周知と教育の推進など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>